

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成25年10月15日
【四半期会計期間】	第20期第2四半期（自平成25年6月1日至平成25年8月31日）
【会社名】	株式会社ガリバーインターナショナル
【英訳名】	GULLIVER INTERNATIONAL CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役会長 羽鳥 兼市
【本店の所在の場所】	東京都千代田区丸の内二丁目7番3号 東京ビルディング
【電話番号】	(03)5208-5503
【事務連絡者氏名】	経理・財務セクションリーダー 松本 雅之
【最寄りの連絡場所】	東京都千代田区丸の内二丁目7番3号 東京ビルディング
【電話番号】	(03)5208-5503
【事務連絡者氏名】	経理・財務セクションリーダー 松本 雅之
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第19期 第2四半期連結 累計期間	第20期 第2四半期連結 累計期間	第19期
会計期間	自平成24年 3月1日 至平成24年 8月31日	自平成25年 3月1日 至平成25年 8月31日	自平成24年 3月1日 至平成25年 2月28日
売上高(百万円)	71,299	83,401	143,417
経常利益(百万円)	1,718	3,658	5,252
四半期(当期)純利益(百万円)	868	2,298	2,980
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	870	2,307	2,989
純資産額(百万円)	27,747	31,282	29,451
総資産額(百万円)	50,064	54,666	53,253
1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円)	8.57	22.67	29.41
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	8.57	22.67	29.41
自己資本比率(%)	55.4	57.2	55.3
営業活動による キャッシュ・フロー(百万円)	4,167	5,985	3,064
投資活動による キャッシュ・フロー(百万円)	271	212	1,348
財務活動による キャッシュ・フロー(百万円)	2,415	475	2,830
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(百万円)	9,428	12,140	6,836

回次	第19期 第2四半期連結 会計期間	第20期 第2四半期連結 会計期間
会計期間	自平成24年 6月1日 至平成24年 8月31日	自平成25年 6月1日 至平成25年 8月31日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	5.14	10.56

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には消費税等(消費税及び地方消費税をいう。以下同じ。)は含まれておりません。

3. 当社は、平成25年5月1日を効力発生日として、普通株式1株につき10株の株式分割を行っております。このため、1株当たり四半期(当期)純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益につきましては、第19期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1)業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるガリバー直営店の買取台数及び小売台数は、前年同期比プラスとなりました。前年同期比で広告宣伝費を抑制する一方で、近年、強化を図ってきた従業員の人材育成の成果に加え、大型展示場WOW! TOWNやアウトレット店をはじめとする新規チャンネルの展開が寄与したものです。

また、前期は新車を対象としたエコカー補助制度の影響を受けて、当社が中古車オークションを通して中古車業者に卸売する際の収益性が低下する状況となりましたが、昨年9月にエコカー補助制度が終了したことにより、当期の収益性は改善しました。

販売費及び一般管理費は、店舗数の増加に伴い増加しました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高83,401百万円（前年同期比17.0%増）、営業利益3,557百万円（前年同期比123.8%増）、経常利益3,658百万円（前年同期比112.9%増）、四半期純利益2,298百万円（前年同期比164.5%増）となりました。

(2)財政状態の状況

[資産の部]

当第2四半期連結会計期間末の資産の部合計は、54,666百万円（前期末比2.7%増）となりました。

流動資産は、商品や受取手形及び売掛金が減少した一方、現金及び預金や短期貸付金が増加したことなどにより、36,962百万円（前期末比25.1%増）となりました。

固定資産は、長期貸付金が増加したことなどにより、17,703百万円（前期末比25.3%増）となりました。

なお、売掛金のうち5,988百万円は、連結子会社である株式会社ジー・ワンファイナンシャルサービスにおける売掛金（金融債権）になります。

[負債の部]

当第2四半期連結会計期間末の負債の部合計は、23,383百万円（前期末比1.8%減）となりました。

流動負債は、買掛金が増加したことなどにより、17,039百万円（前期末比1.8%減）となりました。

固定負債は、6,343百万円（前期末比1.6%減）となりました。

[純資産の部]

当第2四半期連結会計期間末の純資産の部合計は、四半期純利益の計上に伴う利益剰余金の増加などにより31,282百万円（前期末比6.2%増）となりました。

(3)キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、12,140百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、5,985百万円（前年同期は4,167百万円の獲得）となりました。主な内訳は、税金等調整前四半期純利益3,679百万円に加え、たな卸資産の減少による収入があったこと等です。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果支出した資金は、212百万円（前年同期は271百万円の支出）となりました。これは主に貸付金の回収があった一方、有形固定資産の取得による支出によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果支出した資金は、475百万円（前年同期は2,415百万円の支出）となりました。これは主に配当金支払いによる支出です。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	400,000,000
計	400,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (平成25年8月31日)	提出日現在発行数(株) (平成25年10月15日)	上場金融商品取引所名又は登録認可金融商品取引業協会名	内容
普通株式	106,888,000	106,888,000	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数 100株
計	106,888,000	106,888,000	-	-

(注)「提出日現在発行数」欄には、平成25年10月1日から、この四半期報告書提出日までの新株予約権の権利行使により発行された株式数は含まれておりません。

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数増減数 (千株)	発行済株式総数残高 (千株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金増減額 (百万円)	資本準備金残高 (百万円)
平成25年6月1日～ 平成25年8月31日		106,888		4,157		4,032

(6)【大株主の状況】

平成25年8月31日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
株式会社フォワード	東京都港区元麻布一丁目3番1-2703号	28,000	26.20
羽鳥 裕介	東京都港区	8,465	7.92
羽鳥 貴夫	東京都港区	8,465	7.92
ピーピーエイチ フォー フィデリティ ロープライス ド ストック ファンド (常任代理人 株式会社三菱 東京UFJ銀行)	82 DEVONSHIRE ST BOSTON MASSACHUSETTS 02109360582 U.S.A (東京都千代田区丸の内二丁目7番1号)	7,400	6.92
日本マスタートラスト信託銀 行株式会社(信託口)	東京都港区浜松町二丁目11番3号	5,348	5.00
ステート ストリートバン ク アンド トラスト カン パニー505224 (常任代理人 株式会社みず ほ銀行決済営業部)	P.O.BOX 351 BOSTON MASSACHUSETTS 02101 U.S.A. (東京都中央区月島四丁目16-13)	3,506	3.28
日本トラスティ・サービス信 託銀行株式会社(信託口)	東京都中央区晴海一丁目8番11号	3,451	3.23
ザ チェース マンハッタン バンク エヌエイ ロンド ン エス エル オムニバス アカウント (常任代理人 株式会社みず ほ銀行決済営業部)	WOOLGATE HOUSE, COLEMAN STREET LONDON EC2P 2HD, ENGLAND (東京都中央区月島四丁目16番13号)	2,835	2.65
SSBT OD05 OMNIBUS ACCOUNT- TREATY CLIENTS (常任代理人 香港上海銀行 東京支店カस्टディ業務部)	338 PITT STREET SYDNEY NSW 2000 AUSTRALIA (東京都中央区日本橋三丁目11番1号)	1,358	1.27
日本トラスティ・サービス信 託銀行株式会社(信託口9)	東京都中央区晴海一丁目8番11号	1,093	1.03
計	-	69,922	65.42

(注) 1. 上記所有株式数のうち、信託業務に係る株式数は、次のとおりであります。

日本マスタートラスト信託銀行株式会社 5,348千株

日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 4,544千株

2. 上記のほか当社所有の自己株式5,519千株(所有割合5.16%)があります。

3. フィデリティ投信株式会社及びその共同保有者であるエフエムアール エルエルシー (FMR LLC) から平成25年7月25日付(報告義務発生日 平成25年7月19日)で大量保有報告書(変更報告書)の写しの送付があり、以下の株式を保有している旨の報告を受けておりますが、当社として当第2四半期会計期間末時点における実質所有株式数の確認ができておりません。

なお、大量保有報告書(変更報告書)の内容は以下のとおりであります。

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	株券等保有割合 (%)
フィデリティ投信株式会社	東京都港区虎ノ門四丁目3番 1号 城山トラストタワー	1,748	1.63
エフエムアール エルエル シー(FMR LLC)	245 Summer Street, Boston, Massachusetts 02210, USA	11,650	10.90
計	-	13,398	12.53

4. スパークス・アセット・マネジメント株式会社から平成25年5月17日付(報告義務発生日 平成25年5月15日)で大量保有報告書(変更報告書)の写しの送付があり、以下の株式を保有している旨の報告を受けておりますが、当社として当第2四半期会計期間末時点における実質所有株式数の確認ができておりません。

なお、大量保有報告書(変更報告書)の内容は以下のとおりであります。

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	株券等保有割合 (%)
スパークス・アセット・マネ ジメント株式会社	東京都品川区東品川二丁目2 番4号	3,636	3.40

(7)【議決権の状況】

【発行済株式】

平成25年8月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 5,519,800	-	権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式
完全議決権株式(その他)	普通株式 101,333,700	1,013,337	同上
単元未満株式	普通株式 34,500	-	同上
発行済株式総数	106,888,000	-	-
総株主の議決権	-	1,013,337	-

【自己株式等】

平成25年8月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社ガリバー インターナショナル	東京都千代田区丸の内二丁目7番3号東京ビルディング	5,519,800	-	5,519,800	5.16
計	-	5,519,800	-	5,519,800	5.16

2【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期報告書の提出日までにおいて、役員の異動はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成25年6月1日から平成25年8月31日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年3月1日から平成25年8月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、優成監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,863	12,167
受取手形及び売掛金	9,614	8,383
商品	10,380	7,594
短期貸付金	777	6,564
繰延税金資産	965	1,120
その他	1,014	1,192
貸倒引当金	61	60
流動資産合計	29,555	36,962
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	13,757	14,073
減価償却累計額	4,937	5,251
建物及び構築物(純額)	8,820	8,822
車両運搬具	232	231
減価償却累計額	156	173
車両運搬具(純額)	76	57
工具、器具及び備品	2,379	2,515
減価償却累計額	1,925	1,987
工具、器具及び備品(純額)	454	527
土地	218	218
建設仮勘定	40	231
有形固定資産合計	9,609	9,857
無形固定資産		
ソフトウェア	926	889
その他	16	16
無形固定資産合計	942	905
投資その他の資産		
投資有価証券	14	14
関係会社株式	361	400
長期貸付金	6,558	151
敷金及び保証金	3,065	3,185
建設協力金	2,758	2,728
繰延税金資産	249	247
その他	250	275
貸倒引当金	111	62
投資その他の資産合計	13,146	6,940
固定資産合計	23,698	17,703
資産合計	53,253	54,666

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,439	2,482
短期借入金	5,000	5,000
未払金	1,829	1,725
未払法人税等	579	1,596
預り金	264	276
賞与引当金	464	536
商品保証引当金	1,508	1,702
その他	4,270	3,719
流動負債合計	17,357	17,039
固定負債		
長期借入金	4,000	4,000
長期預り保証金	772	735
役員退職慰労引当金	493	457
資産除去債務	1,129	1,151
関係会社事業損失引当金	50	-
固定負債合計	6,445	6,343
負債合計	23,802	23,383
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,157	4,157
資本剰余金	4,032	4,032
利益剰余金	25,171	26,993
自己株式	3,975	3,975
株主資本合計	29,385	31,206
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	62	72
その他の包括利益累計額合計	62	72
新株予約権	3	3
純資産合計	29,451	31,282
負債純資産合計	53,253	54,666

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)
売上高	71,299	83,401
売上原価	55,636	65,637
売上総利益	15,663	17,763
販売費及び一般管理費	14,073	14,206
営業利益	1,589	3,557
営業外収益		
受取利息	64	56
為替差益	0	10
貸倒引当金戻入額	-	52
受取保険金	63	5
その他	57	27
営業外収益合計	187	152
営業外費用		
支払利息	54	42
その他	4	8
営業外費用合計	58	51
経常利益	1,718	3,658
特別利益		
関係会社事業損失引当金戻入額	-	50
特別利益合計	-	50
特別損失		
固定資産除却損	45	28
貸倒引当金繰入額	64	-
その他	10	-
特別損失合計	120	28
税金等調整前四半期純利益	1,597	3,679
法人税、住民税及び事業税	701	1,535
法人税等調整額	27	153
法人税等合計	728	1,381
少数株主損益調整前四半期純利益	868	2,298
四半期純利益	868	2,298

【四半期連結包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	868	2,298
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	1	9
その他の包括利益合計	1	9
四半期包括利益	870	2,307
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	870	2,307

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,597	3,679
減価償却費	554	601
のれん償却額	5	-
貸倒引当金の増減額(は減少)	54	51
賞与引当金の増減額(は減少)	69	71
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	15	35
商品保証引当金の増減額(は減少)	419	193
受取利息及び受取配当金	65	56
支払利息	54	42
為替差損益(は益)	1	10
固定資産除却損	45	28
売上債権の増減額(は増加)	1,155	415
たな卸資産の増減額(は増加)	3,496	2,745
未払消費税等の増減額(は減少)	261	369
仕入債務の増減額(は減少)	1,097	960
その他	326	556
小計	6,240	6,477
利息及び配当金の受取額	346	56
利息の支払額	54	42
法人税等の支払額	2,365	505
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,167	5,985
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	1,126	541
無形固定資産の取得による支出	210	137
資産除去債務の履行による支出	-	6
関係会社株式の取得による支出	-	31
貸付けによる支出	25	20
貸付金の回収による収入	583	639
敷金及び保証金の差入による支出	101	167
敷金及び保証金の回収による収入	33	48
建設協力金の支払による支出	40	113
建設協力金の回収による収入	123	118
定期預金の払戻による収入	500	-
その他	7	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	271	212
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	-	5,000
長期借入金の返済による支出	2,000	5,000
配当金の支払額	415	475
その他	0	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,415	475
現金及び現金同等物に係る換算差額	1	5
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	1,482	5,303
現金及び現金同等物の期首残高	7,945	6,836
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,428	12,140

【会計方針の変更等】

(会計上の見積り変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、第 1 四半期連結会計期間より、平成25年 3 月 1 日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、この変更による当第 2 四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

【注記事項】

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 3 月 1 日 至 平成24年 8 月31日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成25年 3 月 1 日 至 平成25年 8 月31日)
広告宣伝費	2,298百万円	2,031百万円
業務委託料	651	572
給料手当	3,958	4,062
賞与引当金繰入額	549	526
減価償却費	554	601
地代家賃	2,326	2,469

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 3 月 1 日 至 平成24年 8 月31日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成25年 3 月 1 日 至 平成25年 8 月31日)
現金及び預金勘定	9,455百万円	12,167百万円
預入期間が 3 か月を超える定期預金	27	27
現金及び現金同等物	9,428	12,140

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成24年3月1日至平成24年8月31日)

1. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年5月24日 定時株主総会	普通株式	415	41.00	平成24年2月29日	平成24年5月25日	利益剰余金

(注) 1株当たり配当金額については、基準日が平成24年2月29日であるため、平成25年5月1日付の株式分割(1:10)は加味していません。

(2) 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年10月10日 取締役会	普通株式	415	41.00	平成24年8月31日	平成24年11月12日	利益剰余金

(注) 1株当たり配当金額については、基準日が平成24年8月31日であるため、平成25年5月1日付の株式分割(1:10)は加味していません。

2. 株主資本の著しい変動に関する事項

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動がありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成25年3月1日至平成25年8月31日)

1. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年5月30日 定時株主総会	普通株式	476	47.00	平成25年2月28日	平成25年5月31日	利益剰余金

(注) 1株当たり配当金額については、基準日が平成25年2月28日であるため、平成25年5月1日付の株式分割(1:10)は加味していません。

(2) 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年10月11日 取締役会	普通株式	506	5.00	平成25年8月31日	平成25年11月11日	利益剰余金

(注) 平成25年5月1日を効力発生日として、普通株式1株につき10株の株式分割を行っております。このため、株式分割後の株数にて算出しております。

2. 株主資本の著しい変動に関する事項

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動がありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成24年3月1日至平成24年8月31日)及び当第2四半期連結累計期間

(自平成25年3月1日至平成25年8月31日)

当社グループの事業区分は中古車販売事業及びこれらの付帯事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(金融商品関係)

金融商品の四半期連結会計期間末の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動はありません。

(有価証券関係)

有価証券の四半期連結会計期間末の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動はありません。

(デリバティブ取引関係)

デリバティブ取引の四半期連結会計期間末の契約額等は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	8円57銭	22円67銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(百万円)	868	2,298
普通株主に帰属しない金額(百万円)		
普通株式に係る四半期純利益金額(百万円)	868	2,298
普通株式の期中平均株式数(千株)	101,368	101,368
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	8円57銭	22円67銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益調整額(百万円)		
普通株式増加数(千株)	0	19
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要		

(注) 当社は、平成25年5月1日を効力発生日として、普通株式1株につき10株の株式分割を行っております。このため、1株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額につきましては、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

平成25年10月11日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

- (イ) 中間配当による配当金の総額.....506百万円
 - (ロ) 1株当たりの金額..... 5円00銭
 - (ハ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日.....平成25年11月11日
- (注) 平成25年8月31日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いを行います。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年10月11日

株式会社ガリバーインターナショナル

取締役会 御中

優成監査法人

指定社員
業務執行社員 公認会計士 加藤 善孝 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 小野 潤 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 中田 啓 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ガリバーインターナショナルの平成25年3月1日から平成26年2月28日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成25年6月1日から平成25年8月31日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年3月1日から平成25年8月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ガリバーインターナショナル及び連結子会社の平成25年8月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれておりません。